



島崎 由真 さん (広島県出身)
島崎 舞 さん (鹿屋市出身)
令和4年10月に東京都から3人の子どもたちと一緒に移住

島崎由真さん 私は営業職なのですが、社内の打ち合わせも含めてオンラインで行っています。2か月に1回ほど東京へ出張しますが、オンラインとの併用で十分仕事はできています。

鹿屋でのお仕事
市長 両ご夫婦ともゆっくりと子どもたちと過ごせるような場を求めて移住してきたということで、親の愛を感じられます。島崎さんはテレワークをされているということですが、オフィスのない鹿屋で仕事をしています。不都合はあるのでしょうか。

浜洲弥菜さん 新型コロナウイルスの流行で人が集まる場所に行けなくなり、庭もないアパート暮らしに子どもたち

市長 全国的に移住定住の取り組みが推進されている中、本市では令和2年度に「かのや移住サポートセンター」を設置し、鹿屋市への移住をサポートする体制を整備するともに、移住定住を促進するための様々な支援を行っております。

移住のきっかけと鹿屋市を選んだ理由

新春



浜洲 充哉 さん (長崎県出身)
浜洲 弥菜 さん (肝付町出身)
令和4年3月に広島県から3人の子どもたちと一緒に移住

がストレスを感じていました。そこで自然豊かで子どもたちが十分に体を動かすことができ、実家のある鹿屋に帰郷することを決めました。

島崎由真さん 妻の実家である鹿屋での里帰り出産に合わせてテレワークをした際に、支障なく仕事ができたと移住を考えるきっかけとなりました。また、親である私たちのストレスは子育てに影響を与えるので、都会と違いゆったりと過ごせる環境が気に入って移住しました。

ます。長くお付き合いをしているお客様に「実は鹿児島で仕事をしている」と話すと、とても驚かれます。

島崎舞さん 東京のアパートでは2人でテレワークをしていると、片方がオンライン会議をするときにもう片方は寝室に籠る必要があったのですが、今は部屋数が増えたので快適に仕事ができています。

市長 テレワーク化によって収入に影響はあったのでしょうか。

島崎由真さん 私の会社はテレワークでも給料は変わりません。むしろ東京は物価が高く、家賃も最近では1割上がったという話も聞きます。その分の浮いたお金で子どもの習い事を増やすこともできました。

市長 浜洲さんご夫婦はどのようなお仕事をされているのでしょうか。

浜洲充哉さん 自衛隊を退職した当時は、サツマイモ基腐病の影響で農家が減った時期でした。そこで家の裏手にある耕作放棄地を活用できないかと考え、今は焼酎用のコガネセングンを作っています。農作業では、得意のドローンを活用して肥料をまいたり、カメラで生育状況を確認し



対談

with 移住者

from 東京都
島崎 由真
島崎 舞

from 広島県
浜洲 充哉
浜洲 弥菜

鹿屋市長
中西 茂